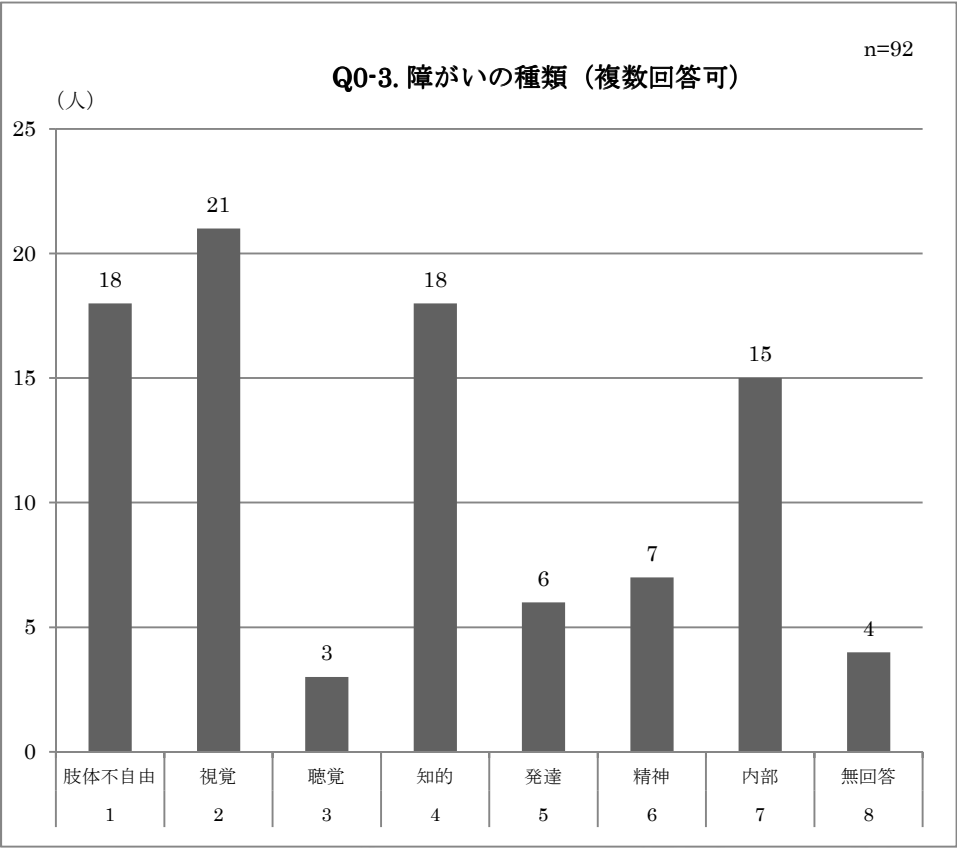
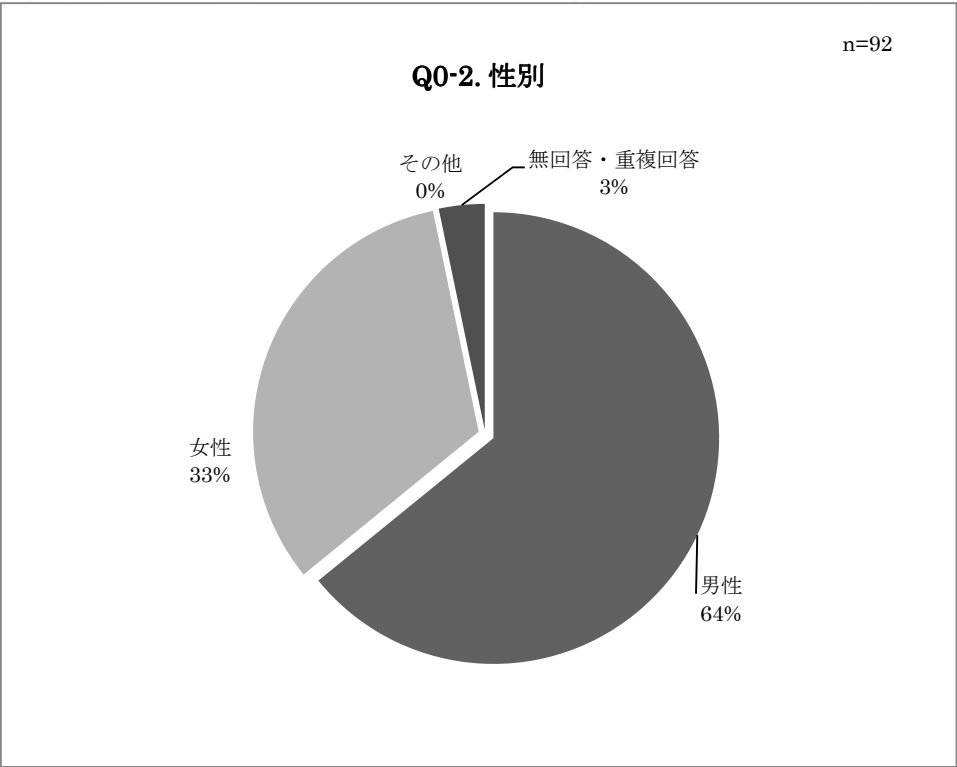
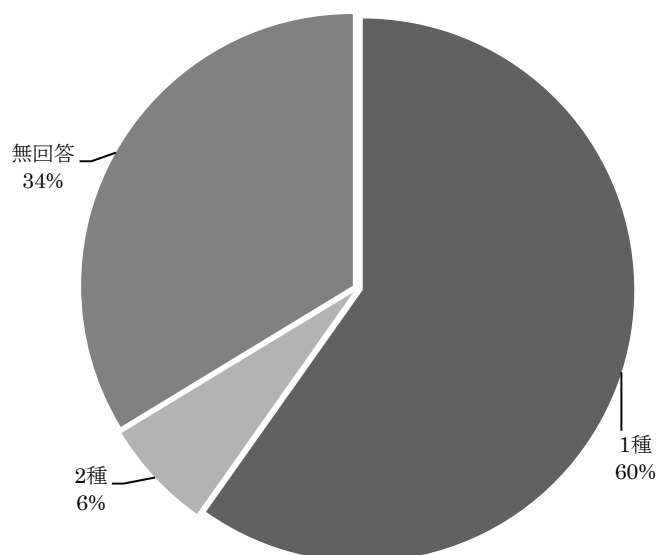




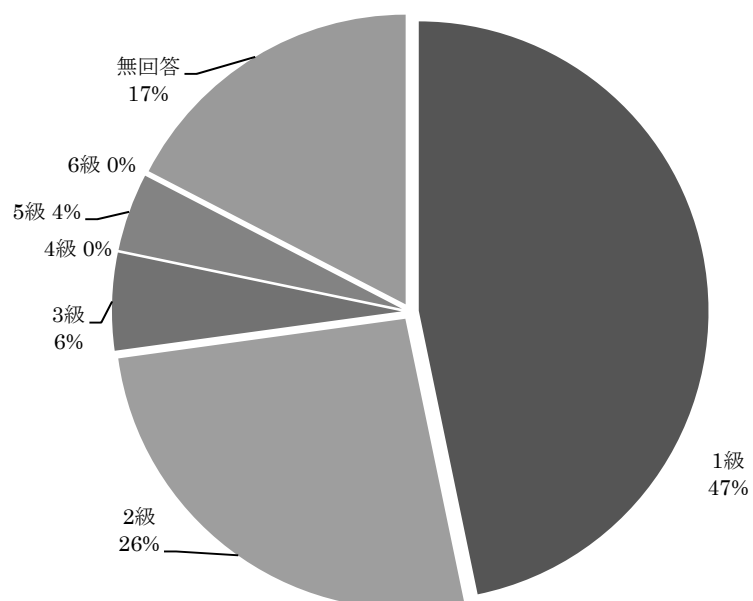
n=92

Q0-4-1. 障害者手帳の旅客運賃等の割引区分



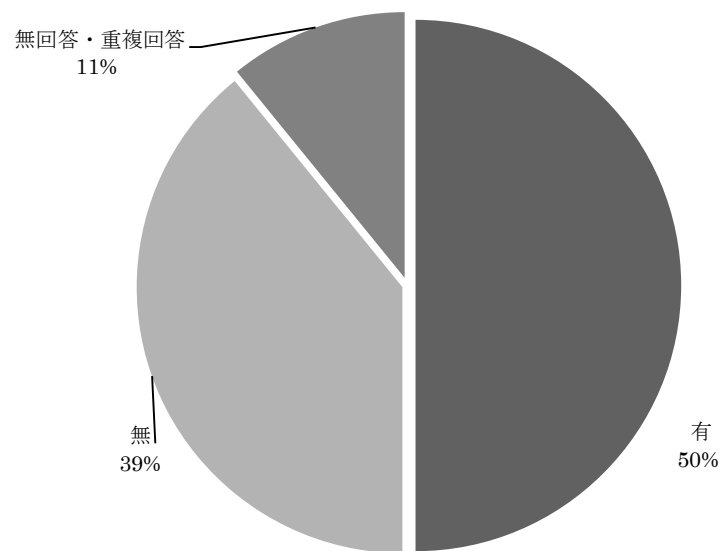
n=92

Q0-4-2. 障害者手帳の等級



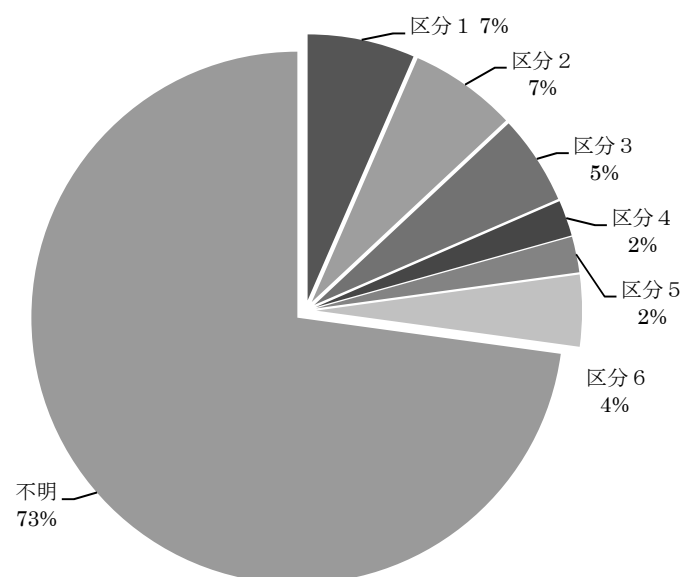
n=92

Q0-5. 介助の必要性の有無



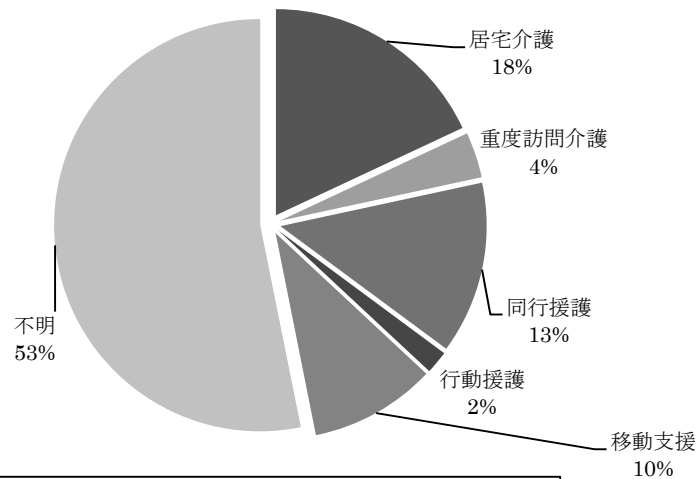
n=92

Q0-6. 障害支援区分



n=92

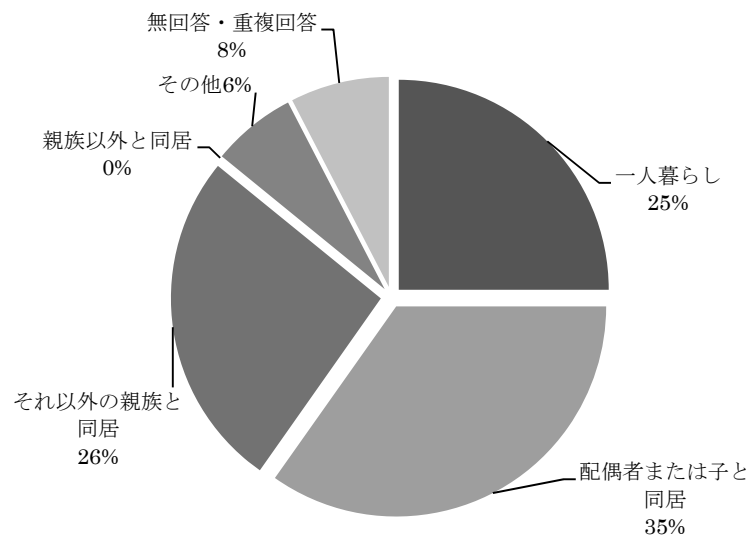
Q0-7. 介護サービスと時間数



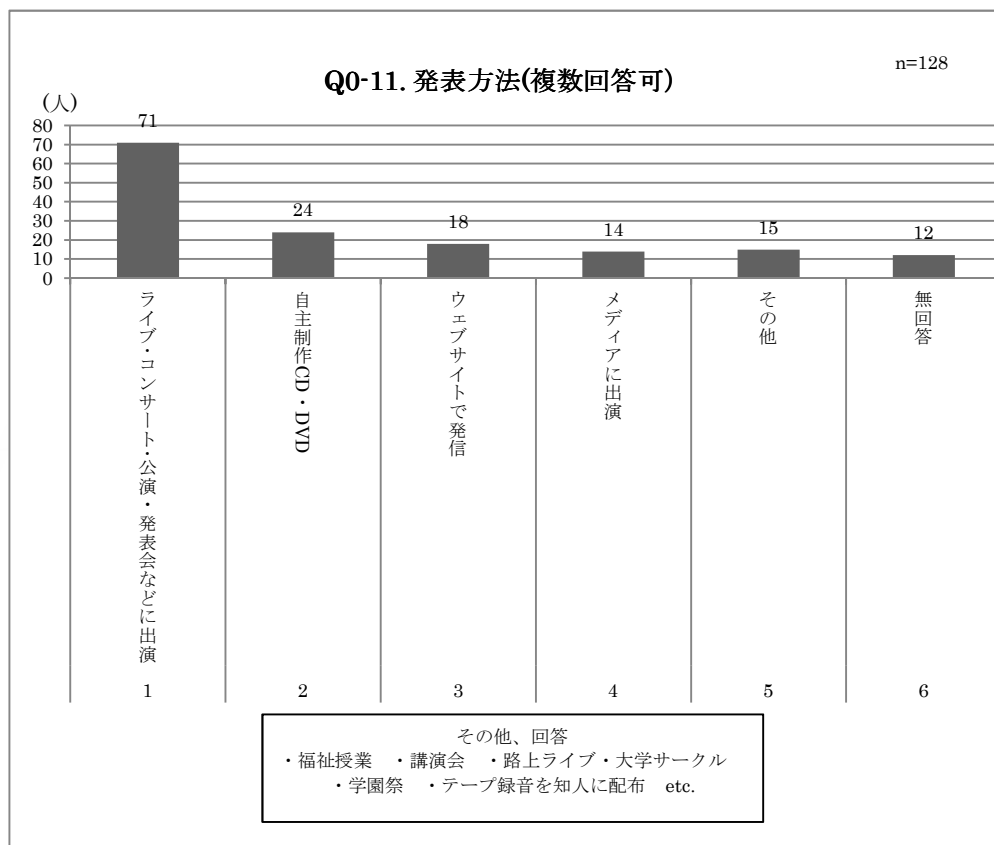
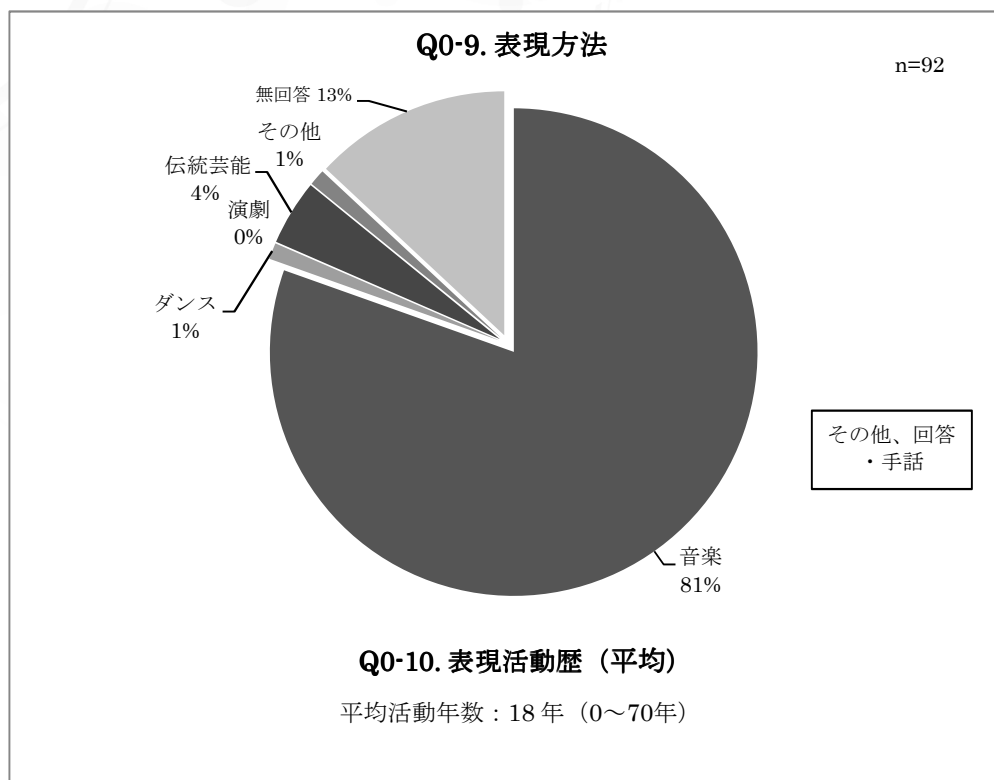
平均時間数 (単位: 時間)
 居宅介護: 29.8 重度訪問介護: 178 同行援護: 7.5
 行動援護: 13 移動支援: 18.4

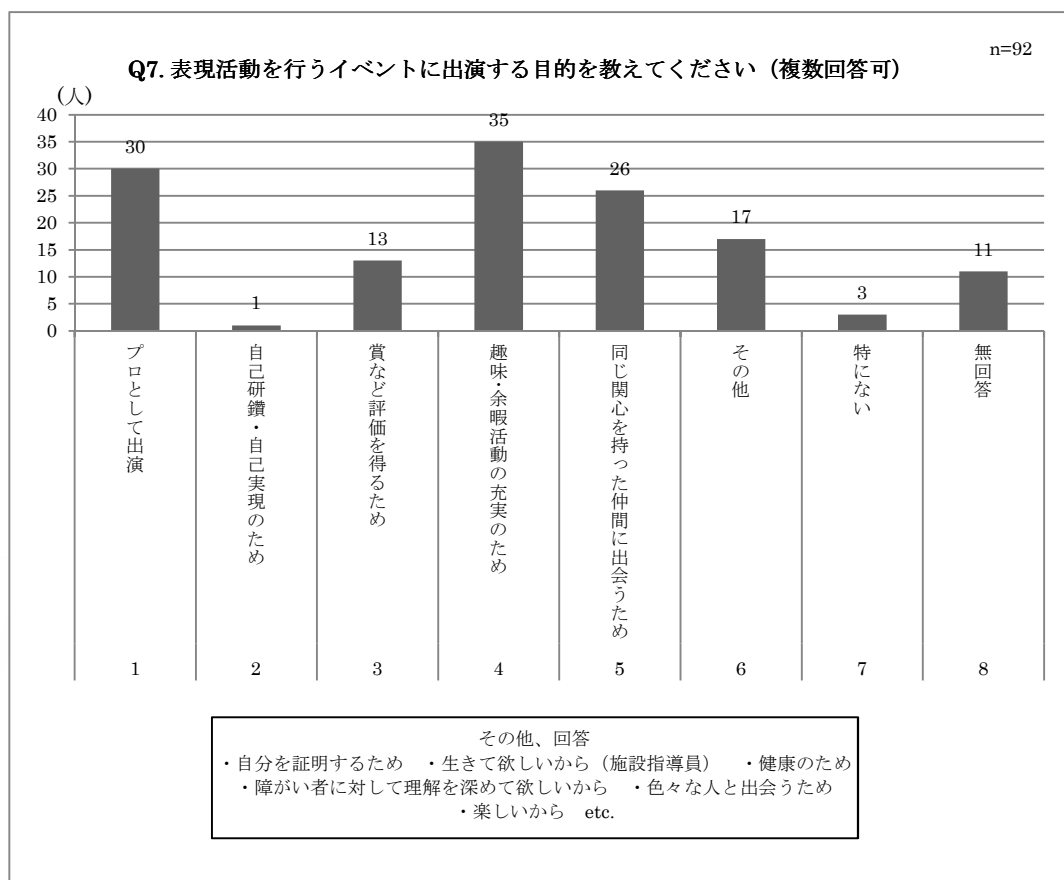
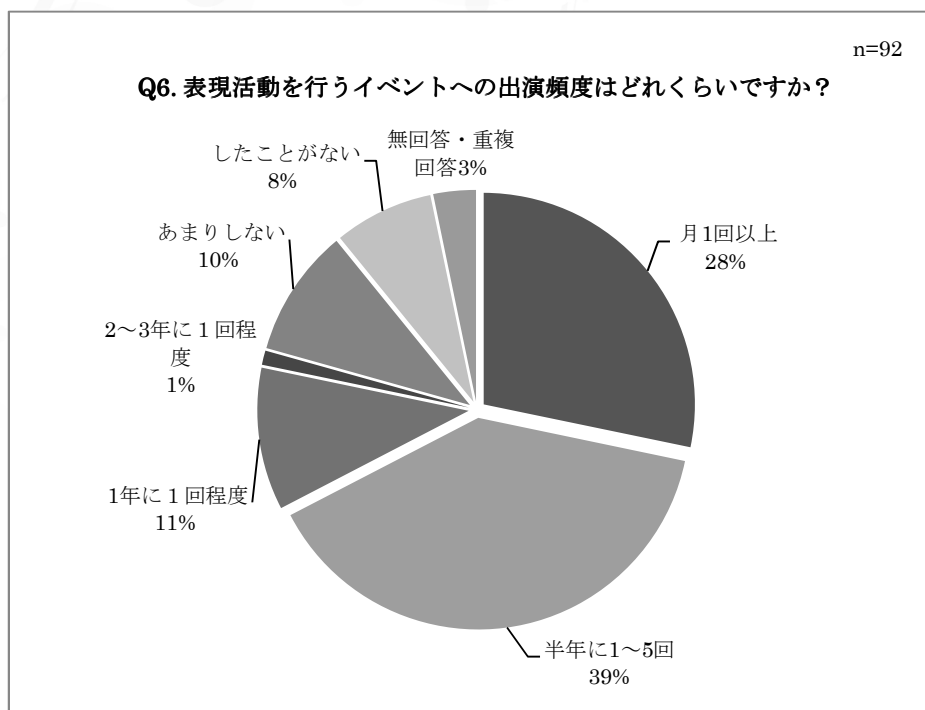
n=92

Q0-8. 生活形態



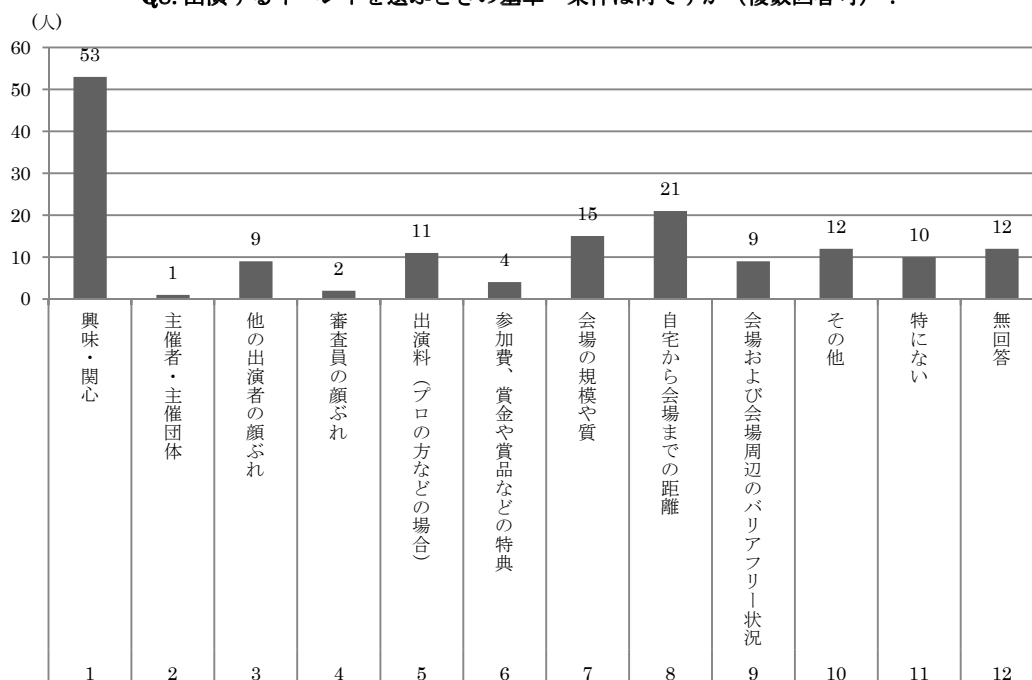
その他、回答
 ・親と同居 ・グループホーム ・祖父母
 ・両親 ・病院 etc.





n=92

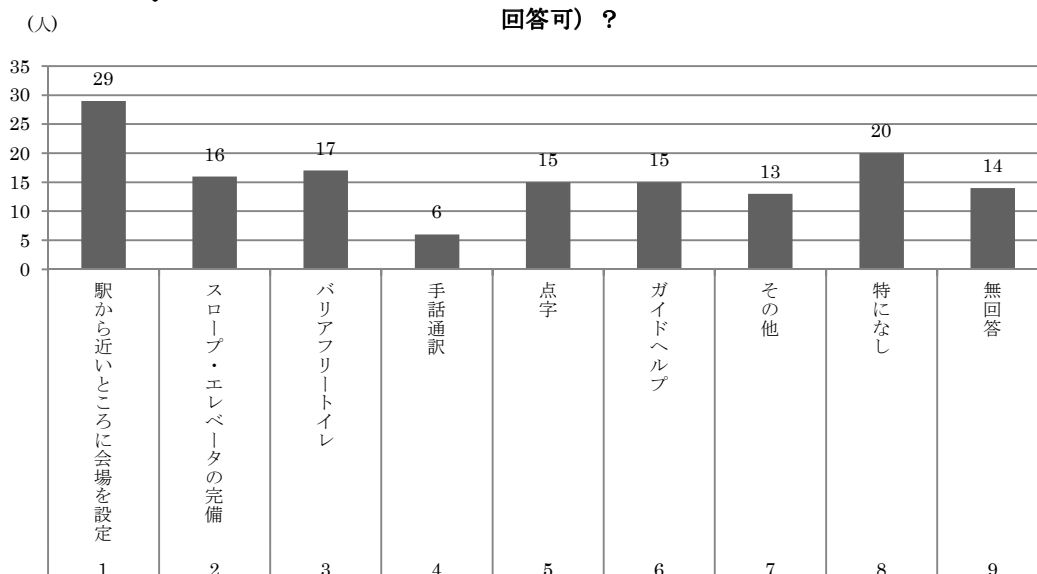
Q8. 出演するイベントを選ぶときの基準・条件は何ですか（複数回答可）？



その他、回答
・障がい者に対する理解と配慮
・スタッフの質
etc.

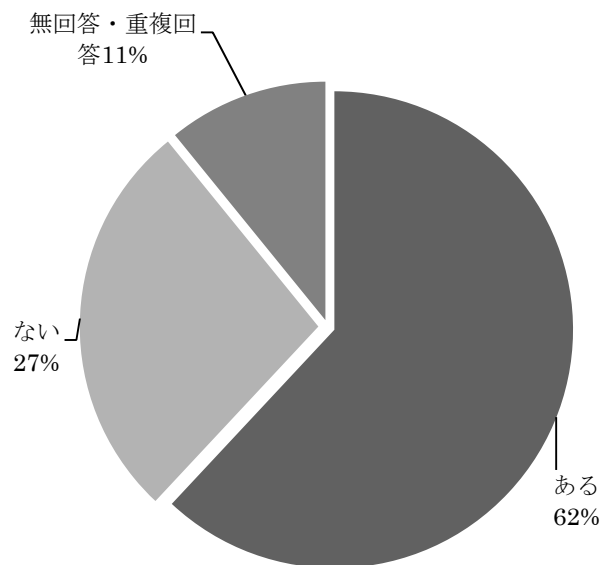
n=92

Q9. 活動を行うイベントの主催者・会場に対し求めることはありますか（複数回答可）？

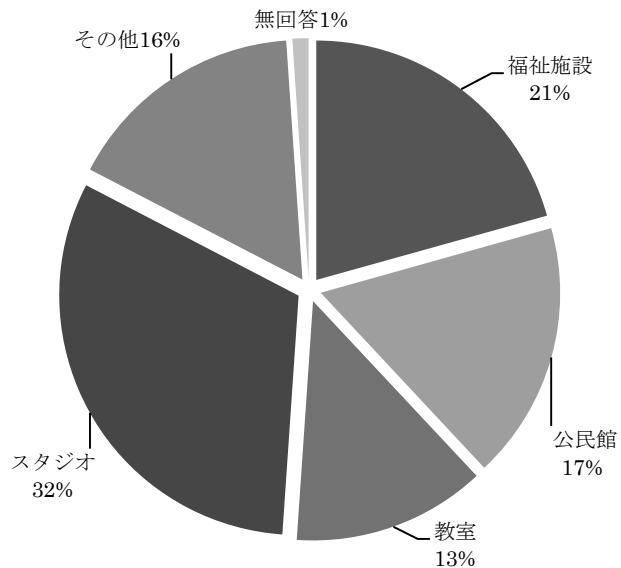


その他、回答
・会場までの誘導
・ステージ上に点字ブロック
・報酬
・駐車場
etc.

Q10.自宅以外の表現活動の練習・創作をする拠点がありますか？ n=92



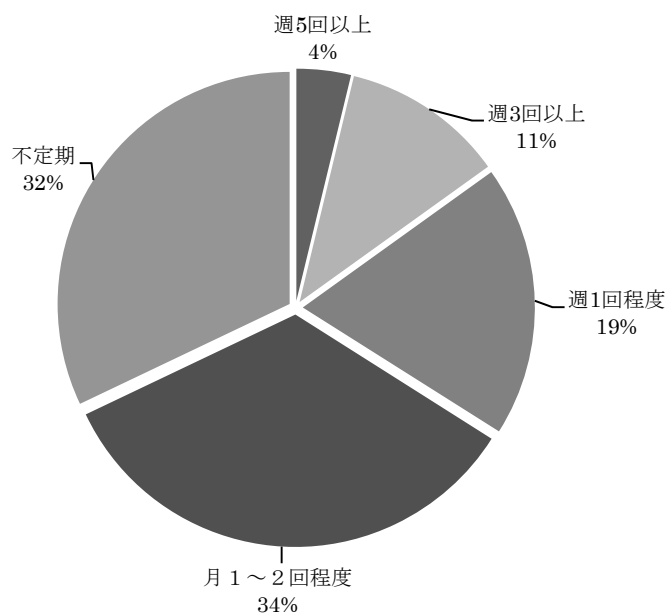
Q10-1. 自宅以外ではどちらで練習・創作活動をされていますか？ n=57



その他、回答
 ・市の施設 ・カラオケ ・友人宅 ・指導者の自宅
 ・寺 ・小中学校 ・公共施設ホール ・野外
 etc.

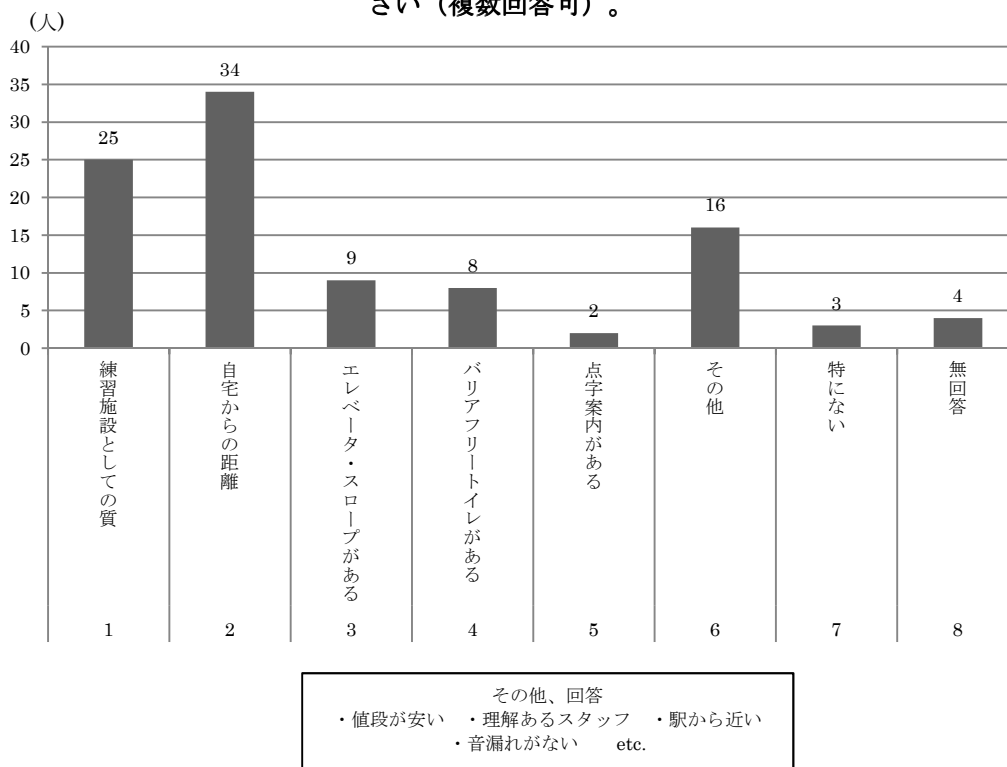
n=57

Q10-2. 自宅以外の表現活動の練習・創作で拠点を利用する頻度を教えてください。



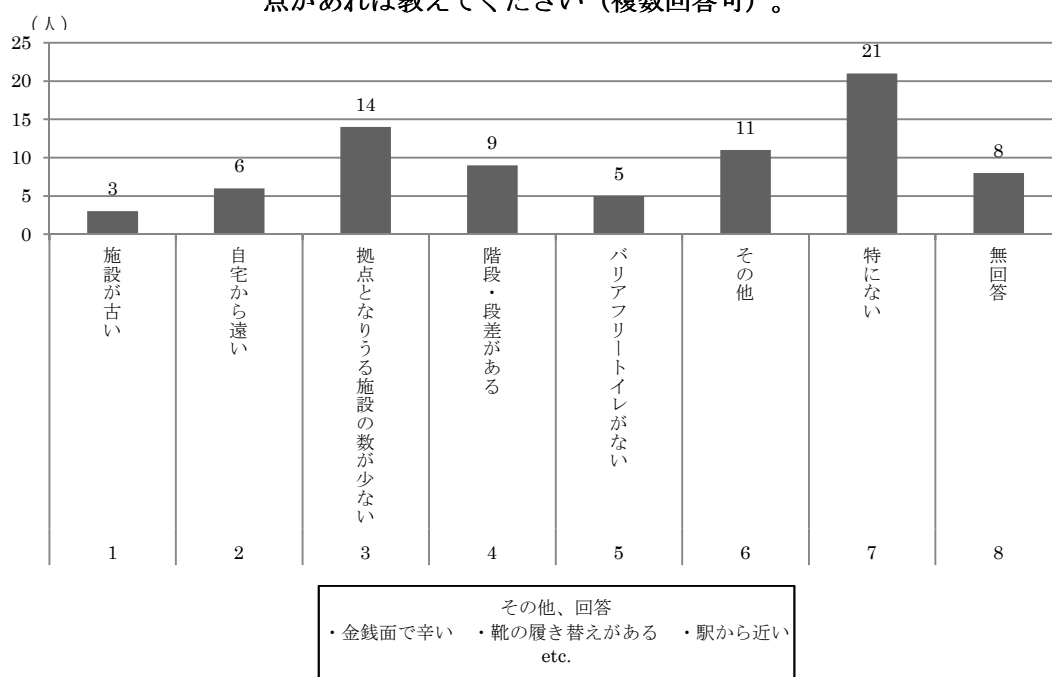
n=57

Q10-3. 自宅以外の練習・創作の拠点を選ぶときの基準を教えてください（複数回答可）。



n=57

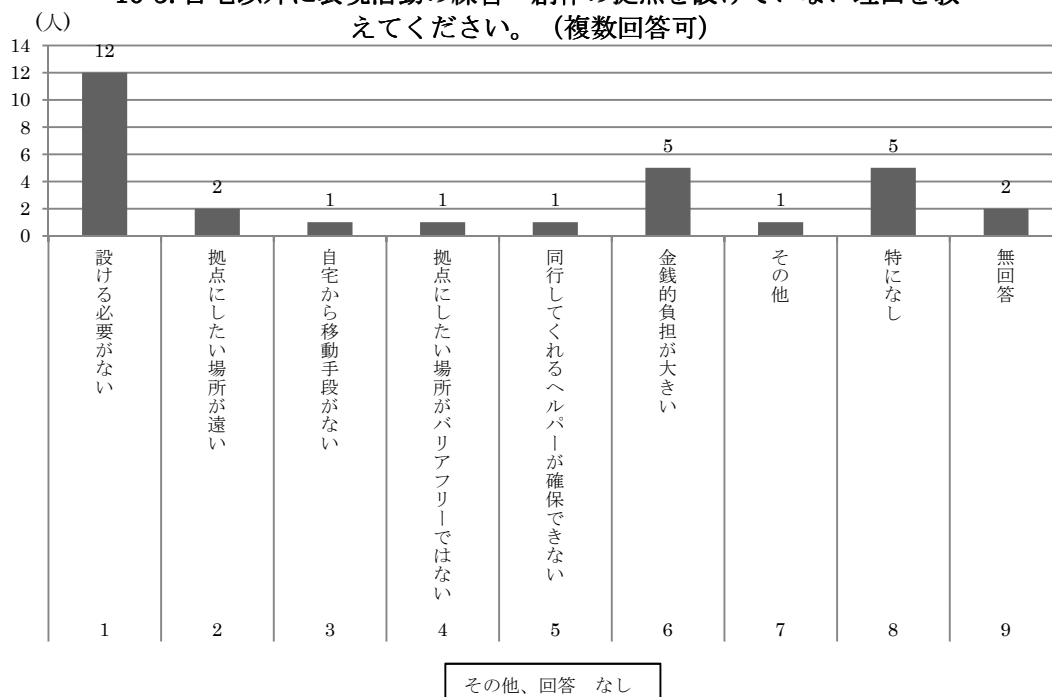
Q10-4. 現在の自宅以外の表現活動の練習・創作拠点への問題と感ずる点があれば教えてください（複数回答可）。

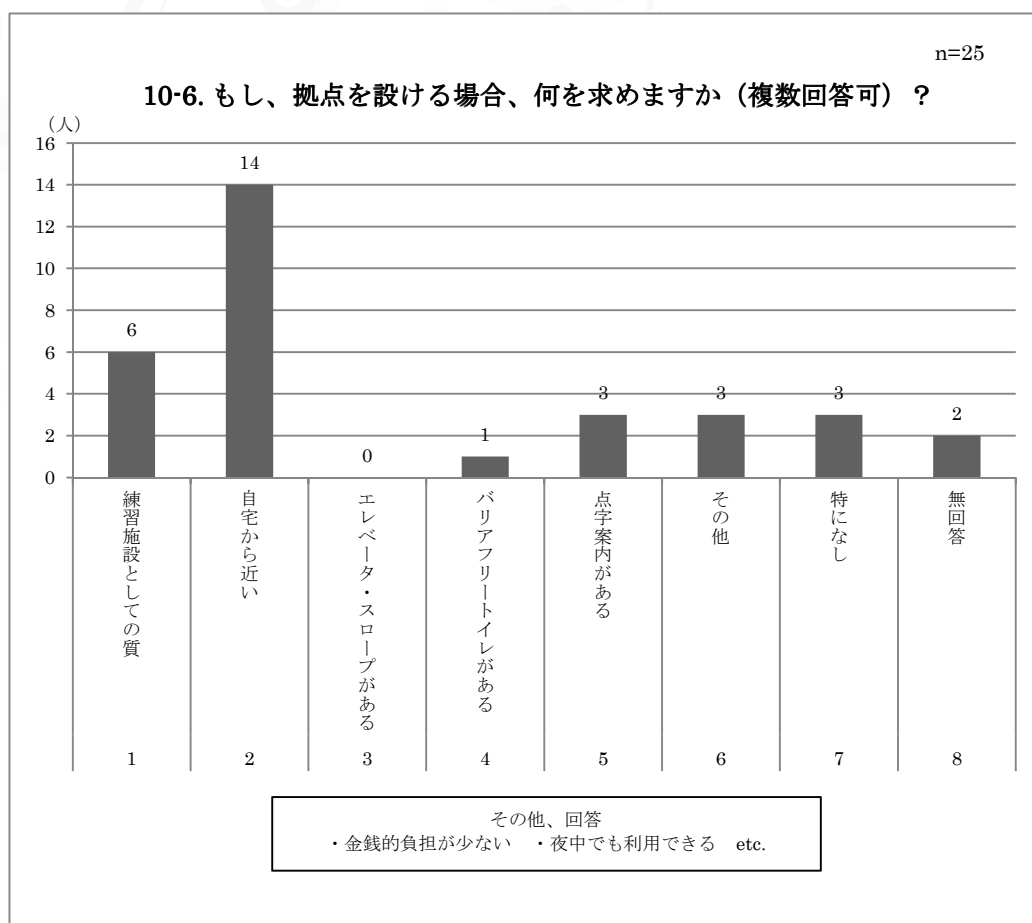


※Q10-1～Q10-4は、Q10にて「ある」と答えた57アンケートで集計

n=25

10-5. 自宅以外に表現活動の練習・創作の拠点を設けていない理由を教えてください。（複数回答可）





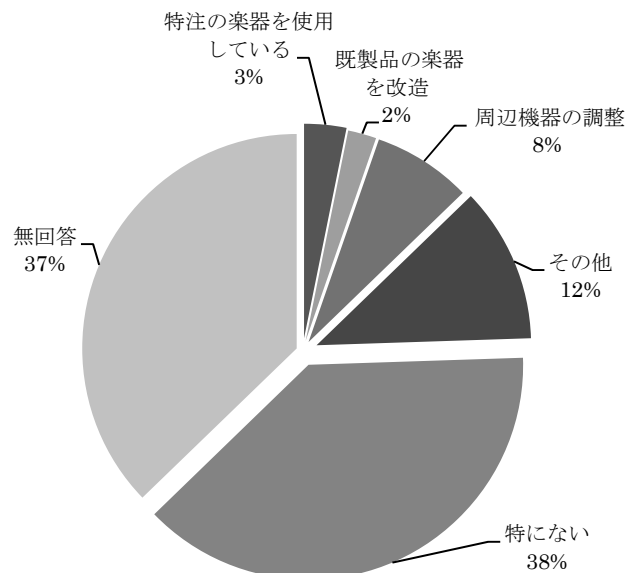
※Q10-5～Q10-6は、Q10において「なし」と答えた25アンケートにて集計

Q11. 使用している楽器を教えてください。

楽器	回答数	楽器	回答数
電子ピアノ、ピアノ	21	アコースティックギター	10
ギター（エレキ、アコギ等種類は不明）	9	ドラム、ドラムセット	8
キーボード	8	ベース	6
エレキギター	6	三味線	5
テナー、ソプラノサックス	3	琴	3
和太鼓	2	ピアノカ	2
尺八	2	篠笛	2
胡弓	2	カホン	2
ハンドベル	1	バンジョー	1
鼻笛	1	ハーモニカ	1
トーンチェーン	1	箏	1
ジャンベ	1	三線	1
サキソホン	1	エレクトーン	1

Q12. 楽器使う際に障害を補うために自ら工夫している点がありますか？

n=92



その他、回答
・自動伴奏 ・譜面の拡大 ・代理伴奏者 etc.

13. 楽器を使う際に障害を補うために改善してほしいことはどんなことですか？ご自由にお書きください。

ギターを全体的に自ら発光するシステムが欲しい。
鍵盤演奏がだんだん難しくなってきた。楽器の操作できる人が、自由に作曲表現できる仕組み。
マニュアルの点字化。
規格の統一。
DTM/DAW ソフトの音声化
音でしらせるチューナーが欲しい
画面操作の必要ないMTRが欲しい（音声で教えてくれるもの）
楽器の搬入に便利なケースやキャリー。演奏しやすい車いす。
もう少しボディが軽ければと思います

etc.

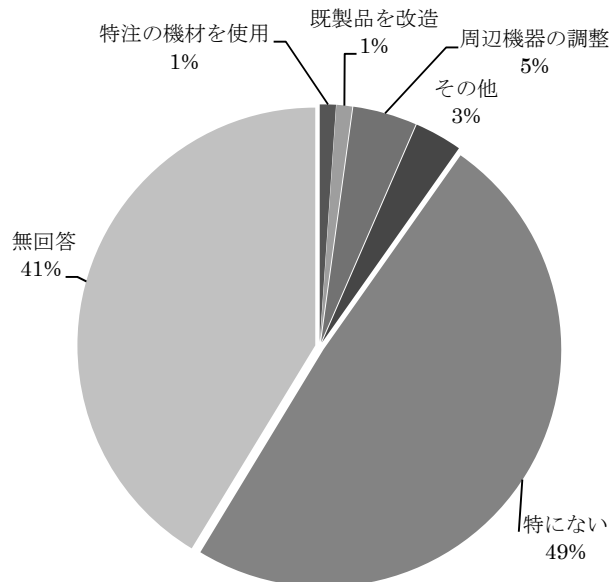
14. 使用されている録音・編集機材、ソフト（アプリ）を教えてください。

AUDACITY	AUDIO EDITOR
casio WK1800	casio WK2000
CD（コンパクト・ディスク）	Cubase
garage band	I Cレコーダー
i-pad	i-phone
MD（ミニ・ディスク）	Microsoft Power Point
Microsoft Word	Mimicopy
PLEXTALK	Rokand BOSS
Roland R-09HR	SONAR studio
TASCAM MTR	T YAMAHA PSR-S900
Zoom H2	ZOOM R24
カセット	シーケンサー
スマートホン	テキスト音楽「サクラ」
デジタルレコーダー	ビデオカメラ
ミニカセットテープレコーダー	ラジカセ

etc.

n=92

Q15. 録音・編集機材、ソフト（アプリ）を使う際に障害を補うために自ら工夫しているてんはありますか？



その他、回答
 ・制作手法（遅く弾いて早く再生）
 ・製品のお客様サポートセンターを活用
 ・ipod-nano
 etc.

16. 録音・編集機材、ソフト(アプリ)を使う際に障がいを補うために改善してほしいことはどんなことですか？ご自由にお書きください。

以前シンセサイザーを使いDTM作曲を行いたいとおもい、楽器店に行ったが、高級機材はほとんどがタッチパネル式になっており、全盲者には使えない(触った感覚で分からない)。

点字楽譜をつかわない視覚障がい者が音声よみあげ機能で使える楽譜政策ソフトとシーセンスソフトがほしい。

指が動かないので、体で動かせるアプリ、左手用があると嬉しい。

基本的にPCを使用して制作しているので、マンマシーンインターフェイスのアクセシビリティの改善(ユーザー補助機能の強化につながる)。

音声と触覚だけで操作できるものが欲しい。

簡単に使用できるとよい。デジタルではなくアナログのものがよい。

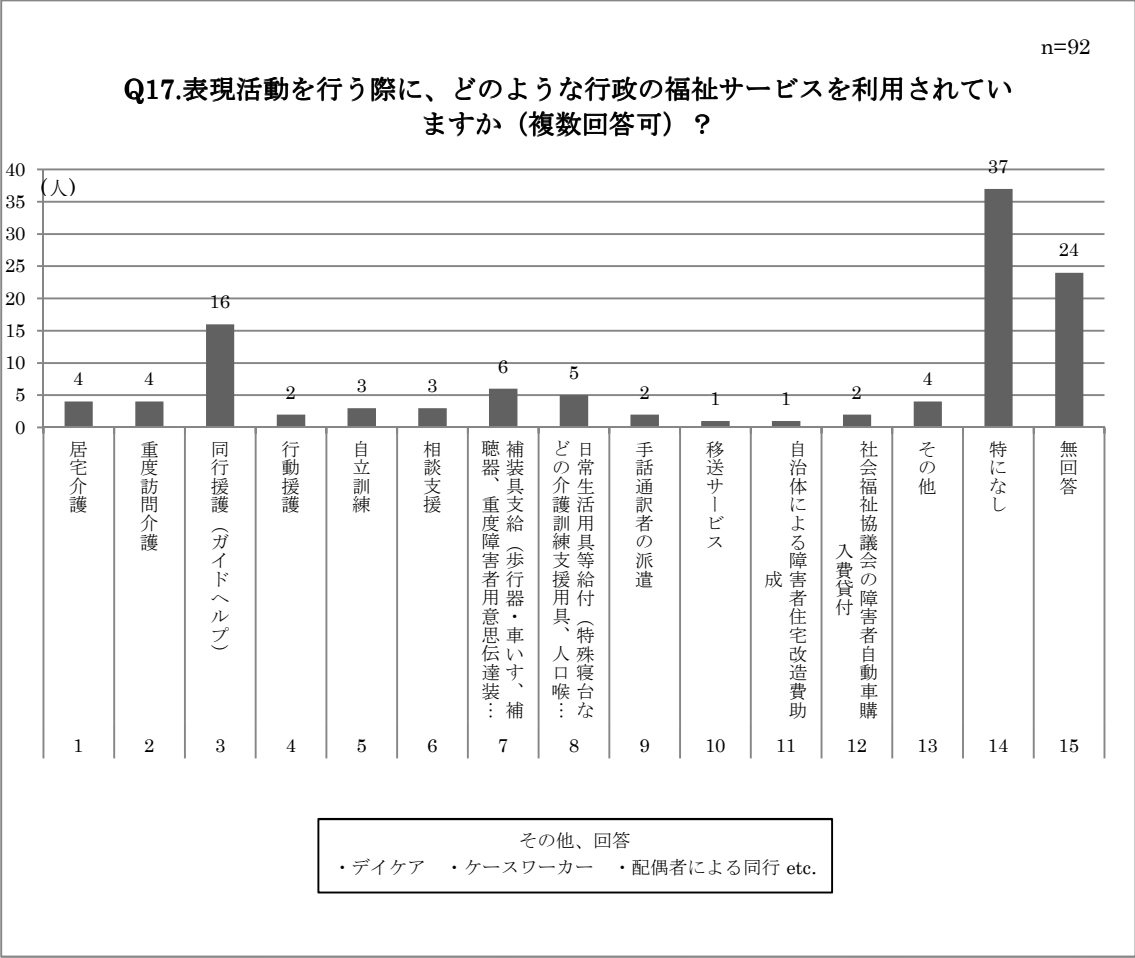
文字が大きい物。

カセットテープしか使い方がわからないので、パソコン他、電気機器の使い方を知りたい。

点字シールつきの物。

音声による操作ガイドが必要。
使用方法を簡単にしてほしい。
目が悪いので、操作ボタンに凹凸がり、デジタル画面を見なくても操作できること。
音声対応の物が少ないのでもう少し改善してほしい。
音声ガイドにより操作しやすくしてほしい。
録音機器がラジカセなので、録音状態が悪いが、良い録音機器がほしいが、良い録音機器の購入の仕方がわからない。また、近隣の人たちに迷惑のかからないよう(自宅)で録音したい。
もっと手伝ってくれる人が欲しい。
点字の楽譜が少ない(その都度ボランティアに頼まなくてはならなかったり、出版数が少ない)ので改善してほしい。

etc.



18. 表現活動を行う際に必要な障がい福祉サービスはありますか？ ご自由にお書きください。

障がい者がほぼ無料で演奏できるライブハウスやそういう場所が身近に欲しい。(自宅から車で 30 分くらいで着くなど) 自分の住む地域がハンディキャップのある人にやさしくなってほしい。
不自由はたくさんするが、仕事なので福祉サービスは利用できない現状
重複サービス 知的、盲人、点字がわからない知的にとっては理解ができない。車いすの人への音楽サポートが欲しい。車いすの人への介護サービス。
コンピューター譜面の政策、鍵盤演奏の代行などの協力の得られる音楽ボランティア、もしくは代償サービス、生活保護費を加算等でアップ。
アプリケーションソフト (DTM/DAWの調整、使用法についてのサポート)。
機材の運搬、セッティングの手伝いが欲しい
音楽や楽器に関しての知識を持っているヘルパーが、ライブを行う際に同行できるようになるとよいと思います。
移動中の介助、活動中の介助ができるサービス。
会場等の割引制度。
機材運搬が難しい方のためのトランクルーム。
精神＋発達障害のため、計画を立てたり実行にうつすことや手続きが苦手で、依頼が来れば社会参加できるが自発的に活動するのが困難です。気軽に演奏を披露できる場やスケジュールを入れてくれサービス (マネジメント) があると本当にありがたい。
有料練習場の賃金援助。
車いすの方と活動しているので、ガイドヘルパーが必要。
楽器や機材の運搬、会場までの同行支援。
今はだいたい親が移動介助をやってくれているので、親亡きあとの本人の趣味の持続に不安がないようこれから考えていきたい。
障がい者の表現者を優先するイベントの増加。
仕事の場合はガイドヘルパーを頼むことができないのでそのあたりを改善してほしい。
私はプロデビュー以来スタッフに恵まれ現在はブリ歌手としてのノーマライゼーションを実践で来ていると思います、芸術は障がい者として道場されない仕事をする、自分を磨くこと、福祉サービスを意識したことはありません。
ありません。音楽は習い事とか言って、交通費はでません。
公共施設を会場としてお借りする際に、利用料金につき障がい者割引があったらいいなと思います。またホールの使用抽選会なども、なかなか大変です。そのあたりのご遠慮があれば嬉しく思います。
活字がまったく読めない、紙ベースでのアンケートなどに自力で対応することは困難なため、メールやインターネットで提供してほしい。
ボランティアの以来、会場での楽器搬入や、車から会場までの楽器搬入、移動、エレベーターがない会場では、1日 5000 円～10000 円を支払って介助者を頼むので、もう少し安く済むと助かる。

etc.

②対面による聞き取り調査

1)調査概要

障がい者が舞台芸術を「表現者として演ずる」際のニーズについて、聞き取り調査を行った。調査対象者は、これまでの当法人の活動のネットワークの中で知人となった全国の障がいをもつ舞台芸術の表現者11名である。なお、調査対象者の障がい種別は、肢体不自由、視覚、聴覚、内部である。

聞き取り調査は、対象者が居住、就労、また一時滞在する地域に出向き、近隣の飲食店や会議室、ラウンジで行った。

その手法は、質問事項のガイドライン（次項参照）を参考にして質的調査の半構造化インタビュー※の手法で行った。

表2-1:表現者聞き取り調査 概要

	都道府県	性別	年代	障害種別	表現方法
表現者	大阪	男	51～60	肢体	音楽
	沖縄	男	51～60	聴覚	音楽
	京都	男	31～40	視覚・肢体	音楽
	長野	男	41～50	肢体	音楽
	東京	女	41～50	聴覚	演劇
	静岡	男	31～40	視覚	音楽
	千葉	女	31～40	肢体	音楽
	沖縄	男	21～30	視覚	音楽
	愛知	女	11～20	視覚	音楽
	新潟	女	11～20	視覚	音楽
	東京	女	41～50	肢体・内部	音楽

2)ガイドラインの内容

○チェックリスト

①基本属性

インタビューの場所

開始時間・終了時間

天候

氏名

住所（市区町村）

生年月日

性別

職業

障がいの種類(視覚・聴覚・肢体・精神・知的・発達・その他)

障害者手帳の等級

介助の必要性の有無

生活形態(一人暮らし・家族と同居・友人と同居・その他)

同居家族(あり・なし)

表現方法(音楽・ダンス・芝居・その他)

表現活動歴

②質問内容

1. 主催者、会場に対する要望

- ・表現活動を行うイベントへの出演頻度。
- ・表現活動を行うイベントに出演する目的。
- ・出演するイベントを選ぶときの基準・条件。
- ・活動を行うイベントの主催者・会場に対し求めること（例:立地条件、スロープ、トイレ、点字、手話通訳、ガイドヘルプ）。

2. 必要とする拠点（福祉施設、教室、スタジオ）に対する要望

- ・自宅以外の表現活動の練習・創作をする場所（立地＋施設種類:福祉施設、教室、スタジオ等）。
- ・自宅以外の表現活動の練習・創作で拠点を利用する頻度。
- ・自宅以外の表現活動の練習・創作の拠点を選ぶときの基準・条件。
- ・現在の自宅以外の表現活動の練習・創作の拠点への不満・要望。
- ・「自宅のみ」と答えた場合。
→・自宅以外の表現活動の練習・創作の拠点を設けていない理由。
→・もし、拠点を設ける場合、何を求めるか。

3. 楽器、録音・編集機材、パソコン等を使用する際の要望

- ・使用している楽器。
- ・楽器を使う際に障害を補うために自ら工夫している点。
- ・楽器を使う際に障害を補うために改善してほしいもの。
- ・使用している録音・編集機材。
- ・録音・編集機材を使う際に障害を補うために自ら工夫している点。

-
- ・録音・編集機材に障害を補うために改善してほしいこと。
 - ・使用しているパソコン・音楽ソフトは何か？
 - ・パソコン・音楽ソフトを使う際に障害を補うために自ら工夫している点。
 - ・パソコン・音楽ソフトを使う際に障害を補うために改善してほしいこと。

4. 行政に対して期待する障害福祉サービスについてその他活動をする上での障壁について

*行政による障害福祉サービスの例

居宅介護、重度訪問介護、同行援護(ガイドヘルプ)、行動援護(知的障害の方の同行)、自立訓練、補装具支給(歩行器・車椅子、補聴器、重度障害者用意思伝達装置など)、相談支援、日常生活用具等給付(特殊寝台などの介護訓練支援用具、人工喉頭や視覚障害者用読上げ装置などの情報・意思疎通支援用具)、手話通訳者の派遣、移動支援、移送サービス、自治体による障害者住宅改造費助成、社会福祉協議会の障害者自動車購入費貸付

- ・表現活動を行う際に、障害福祉サービスを利用しているか。
- ・利用する頻度。
- ・表現活動を行う際にあったらよいと思うサポート
- ・表現活動を行う上で障害になること

3)調査結果

ここでは、聞き取り調査協力者が質問に答えていく中で、特に行政の福祉サービスに直結する語りを紹介種別ごとに抜粋することにより、結果報告にかえる。

なお、下記の罫線内は同一の調査対象者である。

a)肢体不自由

-
- ・社会の歯車になるのは難しい。バンドなら歯車になることができる。
 - ・行政は「趣味」の部分へのサポートを出したがない。
 - ・障がいのある人にもっとライブに来てもらいたい。
 - ・練習をする際にヘルパーさんに来てもらいたい。練習しようと思ったときにヘルパーが確保できない。

-
- ・タクシーの1割引のほうは使っています。移動が多いので。
 - ・行政系は音楽が福祉という観点が無いんです。オーケストラが福祉という観点が無いん

です。大阪市や府に行きますでしょ。そしたら最初は教育委員会に行きなさいといいますね。オーケストラは教育委員会なんでね。趣旨を聞いてそれは障害福祉課やなど、障害福祉課行ったらうちは音楽はやってへんど。どっちもやってへん。

ボランティア＝無償”ではなく、市場としての「ボランティア」を確立することにより、障がい者にとって快適なサービスを多く提供しやすくする。

聴覚、視覚、身体障がい者の人でも、アートを楽しめるように、主催者する際には助成金を出して欲しい。

b) 視覚

- ・表現活動を行う上で障害になること

サービスを知る場がない。

自分が使えるサービスがわからないんですよ。

こっちが調べていかないと、役所の人にもわからないんですよ。

今ある行政サービスをもっと明確にしてもらいたい。

サービスを利用する上で、もっと詳しく知りたい。

舞台袖や舞台に点字ブロックがあれば一人で移動できるんですが。

立って歌う上もあるが、スタンドマイクの位置が教えてもらえるんですが、歌っているうちにお客さんのほうを向いていないことがあるんですよ。点字ブロックがあればいいんですけど。

点字ブロックを近所にもつけてほしいですね。自由に外出できるので。

大きな会場だけでなく、普通のライブハウスがバリアフリーであってほしい。

人の面でも変わってほしい。

トイレの規格を統一してほしい。トイレの向きや、呼び出しブザー、洗浄ボタンなどをすべて統一してくれないとわからない。洗浄ボタンなのか、呼び出しブザーなのかが分からなかったりする。点字案内があっても、点字案内自体どこにあるか統一されていないし、便器までの距離などを書かれてもわからない。

〇〇県では点字楽譜を覚えられる環境がない。

〇〇県は導線がなくなったりして、点字ブロックもほぼないようなもの。また点字ブロックのところにいてもよけられなくて怖い。

c) 肢体不自由および視覚

福祉タクシーは高いから使わないですね。タクシー券もあまり出してもらえないし。バスも乗れるのと乗れないのがある。何時でもええわっていうときにしか乗れへん。時間がかかるので、周りの目も気になりますし。

(質問：読み上げソフトは日常生活用具かなんかで?)

いや。あれは一生に一回ですからね。このめまぐるしい世の中で。一回だけで10万円。だから自腹でしたよ。Windows 7の読み上げソフト。一回買うたら終わりやから。でもどんどん変わっていきますから。

d) 聴覚

公演の企画などの場合には営利目的と見なされて、手話通訳者派遣は公的サービスでは使えず、完全自己負担なので、聞こえる人の劇団に比べて、コストがかかるんですよ。

仕事につかう場合には自己負担になるので、自立を阻害してしまっているように思いますあと、演技について障がい者が学べる場が無いんです。

演劇学校に行く場合、手話通訳者をつけるか、手話で指導を受けることが必要になるんです。

ワークショップに参加するんですが、手話通訳者を連れて行っても良いか問い合わせないといけないし、戸惑われることもあります。

手話通訳者派遣は個人にしか派遣されないんです。

トークショーで手話通訳者が必要なので呼びたいと思ってもできないんです。

個人への手話通訳者の派遣ではなく、面会やトーク所、演劇等「場への手話通訳者派遣」という考えに変えてほしいと思っています。

代理電話という新しいサービスもあり、よく利用します。

ビデオ電話で手話をして通訳をしてもらうサービスです。

代理電話に対する助成が欲しいですね。

普通の人なら簡単に電話できるのに、余分にお金を払わないといけないので、そういう差は大きいと思います。

外見で障害がわからないので、理解してもらうまでに時間がかかるんです。

自分と同じ耳の聞こえない人たちの前で演奏できるのが幸せかなと。

それで生計立てられたら何も言うこと無いです。
